

企 画 展

丸
木
位
里

佐
々
木
邦
彦

広 島 に 芸 術 の 種 を ま い た 人

中丸雪生と 交友の画家たち

中谷ミユキ 鬘光 野村守夫 和高節二

船
田
玉
樹

浜
崎
左
髪
子

2023年4月22日[土]—6月11日[日]

[休館日]月曜日

[開館時間]11時~17時(入館は16時30分まで)

[入館料]一般 500円、学生 250円、中学生以下無料

[主催]公益財団法人泉美術館

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833

広島市西区商工センター2-3-1 エクセル本店5階

TEL:082-276-2600 FAX:082-276-2612

<https://www.izumi-museum.jp/>



中丸雪生《雪景(飯室)》1920(大正9)年

企画展

広島に芸術の種をまいた人

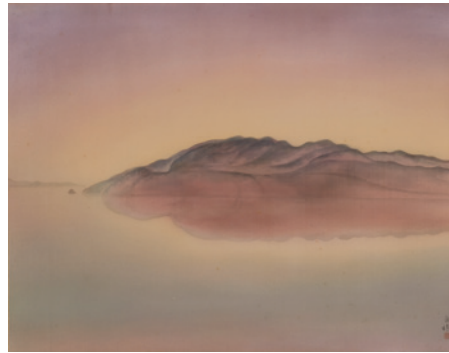
中丸雪生と交友の画家たち

現在の広島市安佐北区安佐町飯室に生まれた中丸雪生(1893-1968)は、大阪、東京、京都などを転々としながら絵画を本格的に学びます。家業を継ぐために画家への道は断念しましたが、自身の夢を託すかのように、生涯を通じて多くの芸術家と交流し、物心両面からその活動を支えました。その一端は、中丸家に残された美術作品や書簡類などからうかがい知ることができます。

同郷の画家である丸木位里が少年時代、通学路沿いに、いつも描きかけの絵を三脚にかけている家がありました。それが中丸邸で、位里はその上手さに強く刺激されたといいます。「飯室村には中丸雪生君がおった。(中略)中丸君の絵は小学校の頃わたしを感心させ、驚かせたものだ。」とのちに述懐しています。

中丸雪生は同じ飯室出身の丸木位里、中谷ミュキ、佐々木邦彦らの支援にとどまらず、近隣の広島市、千代田町(現・北広島町)、向原町(現・安芸高田市)といった県内出身の画家たちとも親しく交流しました。日本美術史の中でも重要な位置を占める巒光をはじめ、日本画家では、船田玉樹、浜崎左髪子、和高節二らの佳品が残り、中丸氏との親交が偲ばれます。

本展覧会では、わずかに残された中丸雪生の絵画作品、画稿や資料などを展示するとともに、交友のあった画家の作品や書簡類などの公開を通じて、広島のみならず、日本の美術振興を陰で支えたその功績を紹介します。



1

2

3

4



5

6

7

1. 中谷ミュキ《静物》1933年 2. 船田玉樹《曉色》 3. 浜崎左髪子《梅に鶯》1944年 4. 丸木位里《姉妹瀧之図》1941年 5. 巒光《ライオン》1936年頃
6. 佐々木邦彦《山相》1953年 7. 和高節二《牛》1939年頃

会期
内
イ
ベ
ン
ト

スペシャルトーク

「中丸雪生と丸木位里」

講師: 岡村幸宣(原爆の図丸木美術館学芸員)

日時: 5月14日(日) 14:00~

場所: 泉美術館展示室

参加希望者申込み制(20名)

※申し込みなど、詳細は美術館にお問い合わせください。

当館学芸員によるギャラリートーク

講師: 当館学芸員

日時: 4月23日(日)、5月28日(日) 各回14:00~

※展覧会チケットが必要です。



アクセス

●JR山陽本線「新井口」駅より

徒歩約15分

●広電宮島線「草津南」駅より

徒歩約10分

●駐車場無料(エクセル本店駐車場をご利用ください)

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター 2-3-1 エクセル本店5階

TEL: 082-276-2600 FAX: 082-276-2612

<https://www.izumi-museum.jp/>



予告

◎ 特別展「広島」の記憶 6月17日(土)~8月27日(日)
◎ 特別展「浜崎左髪子展」 10月17日(火)~12月3日(日)